



図書館だより

瑞穂野中学校



朝の10分間を大事にしてみよう！

読解力につながる、質の高い読書进行しよう！



～新しい環境には慣れましたか？～

気候もよく、朝の風が気持ち良いですね。4月から1か月が過ぎました。どの学年も、次は体育祭。当日は力を十分に発揮してほしいです。

瑞穂野中では、登校して8：08に図書委員の声掛けで着席、朝読の準備をし、朝の8：10～20までの10分間、集中して本を読むことを習慣としています。1時間目の授業から、落ち着いて学習に取り組む事ができます。図書委員が定期的に入れ替えをする学級文庫もありますので、大いに活用してくださいね。また、4月に図書委員を通じて生徒の皆さんから図書購入希望調査を提出してもらいました。図書選定委員の許可をもらった、学校図書館にふさわしい本が購入されますので、楽しみにしててください！



～蔵書点検及び点検前特別貸し出しのお知らせ～

5/21(月)～6/1(金)まで、**蔵書点検**が行われ、**期間中閉館**となります。

それに伴い、**5/14(月)～5/18(金)**までを**点検前特別貸し出し期間**とします。

通常の3冊→5冊に貸し出し冊数が増え、借りた本は6/1(金)まで持っていていいです。



小中9年間を通した 読書指導を行っています



学年に合ったテーマでブックトークを行いました。

ブックトーク
B T 本の貸し出し率 70%!
早速借りてくれて嬉しい!!

学習の後はグループでクイズ形式の確認タイムです。→



←3年生の集中力、素晴らしい!!

読書習慣をつけることによって、皆さんの感性が磨かれたり、思考力がつき、様々な学習の**読解力**にもつながっていくことをお伝えしました。1年生には分類法を中心に、2年生はそこから具体的に、いち早く自分の求める資料に辿り着く術を、3年生にはそれに加え、つけておきたい3つの力と大学入試共通テストについても触れたところです。

(裏面ではオリエンテーションでブックトークした本を紹介しています。)



●●1年生『心がまえ』●●

「中学時代がハッピーになる 30 のこと」

中谷彰宏/PHP 研究所

分類 15

勉強に部活に…中学生って大変なんじゃないの？…と心配している新入生もいるかと思います。でも、効率よく勉強するためには運動で脳を活性化させることも大切なんだそうです！中学校生活を楽しくて実りあるものにするためのヒントを、著者が 30 のメッセージでお届けします。

「大人もおどろく『夏休み子ども科学電話相談』」

NHK ラジオセンター編/SB クリエイティブ

分類 40

科学に関連の深い分野について、子どもたちの疑問に各界の専門家が答える、NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」からの 1 冊。小学生からの鋭い難問・奇問が登場！物事がどうなっているのか、どうしてそのようになったのか、皆さんも探求心を忘れず、学習に取り組んでほしい。

「チポロ」

菅野 雪虫/講談社

分類 913

力も弱く、狩りも上手ではない少年・チポロ。そんな彼のそばにいて世話を焼いてくれていた少女が魔物にさらわれてしまう。弓を手に取り、少女を探す旅に出かけるチポロ。— 2 人の運命は？アイン神話をモチーフとした物語。諦めないことや、挑む勇気を与えてくれる 1 冊。



「きよしこ」 重松 清/新潮社

分類 913

●●2年生『生き方』●●

主人公が小学生の時から、成長を追い進む短編集。吃音を持つ少年は、バカにされないように口を閉ざすことが多い。だがそれ以上に、自分の言いたいことを言えない苦しさ、悔しさと寂しさをにじませる。きっと重なる部分がある、切なくて温かい物語。

「君たちはどう生きるか」

吉野 源三郎/ポプラ社、マガジン社

分類 15

中学生の『コペル君』というあだ名の少年が、近くに住むおじさんと共に「人間はどう生きていけばよいか」を考える。学校でのいじめや、同級生の貧しさを見て、どう対処していけばいいのか、おじさんとの対話を通じて考え、成長していく物語。失敗したり悩んだりすることは無駄なことではなく、そこから何かをつかみ学んでほしい。将来にも役立ててほしい 1 冊。

「人生とは、人の役に立つこと」

大山 泰弘/WAVE 出版

分類 58

仕事をする上で、大切なことって何でしょうか？この本は、作者が会長を務めるチョーク工場でのお話。養護学校の先生に懇願され、とまどいながらも知的障害のある生徒を雇うこととなりますが、一緒に働いてみると驚くことや感動する出来事が次々起こります。働く幸せについて、それぞれ考えるきっかけにしてほしい、感動の 1 冊。



●●3年生『世界を広げる』●●

「もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら」 神田 桂一・菊池 良/宝島社

分類 913

日本と海外の文豪や人気ブロガーなどが“カップ焼きそばの作り方”を書いたらどんな文体になるだろうか？という何とも個性的な 1 冊。読んでみると、書き出しで「ああ、あの作家…」と感じられるから不思議。気になる文豪を発掘したら、ぜひその作者の本を読み、読書の質を深めてみては。

「忘れられた巨人」

カズオ イシグロ/早川書房

分類 933

昨年のノーベル文学賞作家による長編ファンタジー作品。ある老夫婦が、遠い地で暮らす息子に会うため長年住んだ村を後にする。様々な人々に出会いながら、その先で 2 人を待っていたものとは…。さながら映画を観ているようなスケール感、そして世界的に認められた人の文章に触れ、感性を磨き、壮大な世界観を味わってみよう。

「ダイヤモンドより平和がほしい」

後藤 健二/汐文社

分類 30

「これから戦場に向かいます」

山本 美香/ポプラ社

分類 31

日本から離れた地域では、未だに戦争や紛争が起こり、罪のない人たちが犠牲となり、銃を握られ、暴力で世界をコントロールすることを刷り込まれる子供たちがいます。その現実を世界に伝えようとした 2 人の日本人ジャーナリスト。彼らが伝えたかったこと、世界に目を向け、日本についても考えるきっかけとしてほしい。



心に響く 1 冊と出会えることを願っています。